

事業・開発・知財戦略を連動させてロードマップの実現へ！

会社名 株式会社村谷機械製作所
 所在地 石川県金沢市東蚊瓜町1丁目32番地
 従業員 60名
 資本金 5,000万円
 売上高 10億円
 業種 産業機械、工作機械の製造、販売



支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- マルチビーム式レーザー加工装置(Mレーザー加工装置)を医療分野を手始めとして多様なモノづくりへの適用を図り、Mレーザー加工装置関連の売上げを4-5倍まで成長させることを目指す
- 共同研究・委託開発契約に対する考え方がまとまっていない。事業戦略が不明瞭でロードマップがなく、事業戦略に沿った開発・知財戦略(所謂三位一体の戦略)がない。技術力の発信・医療器具販売のための社内体制整備が不十分などが課題

支援を受けてできるようになったこと

After

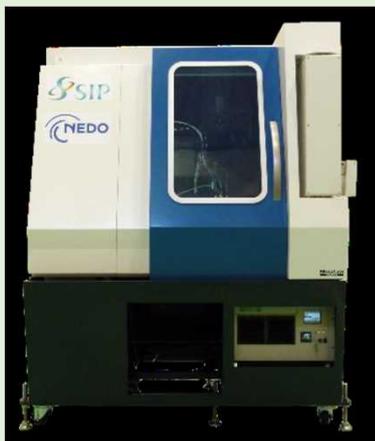
- 事業戦略と開発・知財戦略を連動させたマネジメントの必要性の理解と増進
- 経営者自らの社内に対する発信力が強化され、従業員との経営事項の共有が進む
- 法務対応に対する理解が高まり、自社事業に必要な契約の重要性を理解
- 社内体制の整備がなされ、自発的な発明意識の醸成や出願・秘匿の着想に進展

今後の事業展開の展望

Future

- ロードマップ実現のためには社内で合意と予算獲得が必要となるため計画的な事業実施を目指す。契約のひな型については一部の作成にとどまっているため今後も支援を継続。営業秘密管理については今後もINPITによる支援を継続
- 定期開催のアイデア検討会で出願できそうな技術を発掘し開発の成果を確実に出せるようにする。職務発明規程については早急に意見聴取を行い制定し発効

重点支援を受けた事業や商材



一品一様のものづくりで顧客ニーズに答える生産用機械器具を製造する経営方針を掲げる。一貫した「ものづくり」を提供してきた中で、10年来レーザー加工装置について産学官連携の共同研究開発を続けてきて培った技術力(サポイン採択3回)を蓄積。医療分野をはじめ多様なモノづくりに適用する同技術の可能性を探索している。

開発したレーザー加工装置(ALPION)を、医療機器の加工のみならず多種多様な分野における加工へ適用していくことを将来ビジョンに掲げる。

重点支援を実施するにあたって整理した課題



取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
事業戦略が明確になっておらずロードマップがない	Mレーザー加工装置を医療分野を手始めとして多様なモノづくり分野へ広げて売り上げの増加を図ろうとしているが、5年後の数値があるだけでその道筋が不明
事業戦略に沿った開発・知財戦略がない	リスク管理ができていない。共同研究を行っていく中でどのような技術を権利化しノウハウとするか予め想定しておく必要がある。自社独自技術についても洗い出しをする必要がある。オープンにする技術については積極的に発信する必要がある。
共同研究・委託開発の契約に対する考え方が曖昧である	大学、公設試との間で複数の共同研究契約が締結されており、これから更に複数の共同研究が予定されている。契約面の精査が必要
技術力の発信のための体制が未整備	複数の大学、公設試とのネットワークを持っているが、技術ブランド力がないため逃している受注機会を捉えられるようすることが必要
医療器具販売のための体制が無い	大学のネットワークを使った販売の検討も必要であるが、それ以外の方法も検討する必要がある。
社内体制の整備が不十分	開発費に見合った暗黙知の見える化、顧客ニーズから得られる知見の見える化実現のための体制を整備すべき。あわせてノウハウ管理体制を整える必要がある。

重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと



支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
<ul style="list-style-type: none"> 市場調査のための支援 医療機器ブランドと技術ブランド戦略の立案 5年後の売上実現のためのロードマップ作成 	<ul style="list-style-type: none"> 会社としての今後の事業ロードマップを作成（特許情報分析等を活用しながら、5年後までの事業計画を立案し、その達成のためのロードマップ・開発計画を策定） 	中小企業診断士
<ul style="list-style-type: none"> 特許調査結果の分析への協力 ロードマップに適合した知財戦略の立案の支援 対象技術のオープン・クローズド戦略立案の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 事業戦略、開発戦略と連動した三位一体の知財戦略の策定、自社単独での知財の重要性を理解。 	中小企業診断士、弁理士
<ul style="list-style-type: none"> 従来契約を整理するために必要なポイント助言 自社に有利な内容とするための助言ほか 	<ul style="list-style-type: none"> 事業に整合する法務準備への理解、契約に関する考え方の助言とひな型作成に着手。 	中小企業診断士、弁護士
<ul style="list-style-type: none"> 技術力発信のための環境づくりの支援 	<ul style="list-style-type: none"> 必要となる営業戦略の検討およびその準備の進捗（既に使用している商品名の商標出願が未実施につき、急ぎ商標出願することを対応） 	中小企業診断士、弁理士
<ul style="list-style-type: none"> 医療機器販売に強い企業、代理店との提携とそこからの情報発信に向けた支援 	<ul style="list-style-type: none"> （医療機器の販売の支援については、石川県産業創出支援機構(ISICO)からの支援を受けて進行中） 	中小企業診断士
<ul style="list-style-type: none"> 提案を拾い上げるための社内の仕組みづくりへの協力 職務発明規定、営業秘密管理規定の整備（発明発掘のための仕組みを含む）への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 社内体制整備・社内意識醸成について進捗（発明発掘会（ブレイクストーンニングによるアイデア検討会）の定期的開催、職務発明規程の速やかな発効。営業秘密管理も積極展開させる） 	中小企業診断士、知財戦略AD、職務発明規程専門家

支援チーム紹介

リーダー専門家: 中小企業診断士 中澤 俊彦

活用専門家: 弁理士、弁護士、知財戦略AD、職務発明規程専門家

窓口担当者: 石川県知財総合支援窓口 池島 裕之 PO(プログラムオフィサー): 塩谷 良知